

授業科目名	社会福祉論	担当教員	西崎 緑		
開講年次及び学期	1～4年通年	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の思想、理論、制度、支援などの基礎について学ぶ。 2. ヒューマンサービスに携わる者としての倫理と人間の尊厳の尊重を基礎においた生活支援について学ぶ。 3. 地域や医療現場における保健・医療・福祉の連携について考え、実践できるようになるための基礎知識の修得をめざす。 					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の理念と意義について説明できる。 2. 社会福祉の対象とICFの考えに基づいた支援の形態および方法について説明できる。 3. 社会保障と社会福祉サービス体系の概要について説明できる。 4. 社会福祉をめぐるわが国および諸外国の動向について説明できる。 5. 地域の高齢化および地域包括ケアの必要性について説明できる。 					
キーワード					
人間の尊厳、生活保障、保健・医療・福祉の連携、地域包括ケアシステム					
授業の進め方					
<p>全回オンデマンド形式の講義によって実施する。 テキストの予習復習が必要である。授業後に、指示された課題を提出する。</p>					
成績評価の方法（合否基準）					
<p>授業の課題70% 期末レポート30%</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>『新体系看護学全書 第13版 1-3-3 健康支援と社会保障制度 3 社会福祉』 メヂカルフレンド社ISBN：978-4-8392-3370-9 発行年：2020年 11月</p>					
オフィスアワー					
<p>集中講義のため、質問・相談はメールで受け付ける。nisizaki@hmn.shimane-u.ac.jp</p>					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
<p>A-5保健・医療・福祉における協働 B-1ひとびとの暮らしを支える地域や文化 B-2社会システムと健康 C-2生活者としての人間理解</p>					
準備学修に必要な学修の時間					
<p>各講義の中で指示します。</p>					

授業計画

回	テーマ	授業内容	担当者
1	生活と福祉	なぜ福祉を学ぶのか、生活基盤、ライフスタイル、人間の集団としての働き	西崎
2	社会保障の概念と歴史	社会保障とは何か、日本の社会保障の構成、歴史的発展、社会保障の財政	西崎
3	わが国の社会保険制度(1)	医療保険制度、高齢者医療制度、医療提供体制と国民医療費	西崎
4	わが国の社会保険制度(2)	介護保険制度	西崎
5	わが国の社会保険制度(3)	年金保険制度、労働保険制度	西崎
6	社会福祉の歴史	慈善事業から福祉国家まで(精神科医療、障害者医療の歴史を含む)	西崎
7	現代社会における貧困	子どもの貧困(その原因と支援策)、ホームレス(その原因と支援策)	西崎
8	社会福祉の諸制度と施策(1)	生活保護(医療扶助を含む)、無料低額診療、低所得者への支援策	西崎
9	社会福祉の諸制度と施策(2)	障害児・者への福祉施策、障害者差別解消法と地域ケア	西崎
10	社会福祉の諸制度と施策(3)	地域で生活する高齢者の支援、認知症ケア、ターミナルケア	西崎
11	世界の福祉(北欧編)	北欧における福祉の考え方、ジェンダー平等と子育て支援	西崎
12	世界の福祉(アジア・アフリカ編)	アジア・アフリカの児童労働、女性の地位の問題	西崎
13	SDGsと私たちの生活	持続可能な社会とその発展を世界の人々が協力して実施するには	西崎
14	地域包括ケアの中での医療・保健・福祉の連携	地域包括ケアシステムの現状と課題	西崎
備考			